

あなたの未来 見えるかな

YUMEKITA EXPO 夢キタ万博 2024



いろいろな
職業体験に
みんな真剣!



すまいの設計体験



ワクワク
するね!



はんだ付け体験



能楽



楽しく
できたかな?

手仕事、IT、鑑識… 幅広い職業を体験

教育、福祉、防災など幅広い分野で北区が進めてきた官民連携を、子どもたちの夢づくりに活かそうと企画された夢キタ万博。小学校高学年から高校生を対象にした職業体験「KITAKU WORK WORK EXPO 2024」には、北区と連携する企業や団体、専門学校などが50を超えるパビリオンを出展しました。VTuberやドローンなどの先端技術、木彫、花火玉作りといった職人の技、商品を引き立てるPOP作りやアパレル店で服を畳む身近な仕事、刑事ドラマで見た鑑識場面の再現など、幅広い体験が用意されました。

スマホ教室に向けた 事前研修も

大淀中学校1年の山田愛奈さんは美容の仕事に興味があり、ハンドマッサージを体験しました。2人ペアでマッサージをしたり、してもらったり。「力加減

がすごく難しかったけど、マッサージしてもらった方の手は、肌の色が明るくなりました。オイルの香りによって、すっきりするとか、リラックスするとか効果が違うというのも面白く、もっと知りたいと思いました」

スマホ教室での講師補助を体験した北稜中学校1年の寺澤安緒さんは、「学校でも友だちに勉強を教えたりするのが好きなので、この体験を選びました」と話し、事前研修を受けて本番に備えました。「高齢の方に伝える時には、“タップ”という言葉は使わず、“ここを押して”と言った方が分かりやすいなど、研修で学んだことが役に立ちました。QRコード*の読み取り方を説明したら、できるようになって喜ばれました」

実物大の「はやぶさ2」が登場

会場には、小惑星リュウグウから試料を持ち帰った小惑星探査機「はやぶさ2」の実物大模型も登場。ロケットなどに使われるカーボン複合材を持ち上げる体験や、繊細さゆえに手作業で行う宇宙関連部品

のはんだ付け体験もありました。

星槎国際高校3年の片山暁登さんは、カーボン複合材の大きな板が「めっちゃ軽かった」とびっくり。宇宙に特別な興味はありませんでしたが、「実際に働いている人の話を聞いてみたいとわからないことが多い。もっとこういう機会があれば、いろんな仕事を知れて、自分に合った仕事を見つけられると思う」と話しました。

企業が体験参加者から助言や提案を受ける「リバースメンター」のコーナーも設けられました。自社が開発した商品を試食してもらってアンケートを取ったり、万博を想定したユニフォーム案に意見を求めたり。事前の申込みに応募した参加者たちの関心は高く、鋭い意見が飛び交いました。

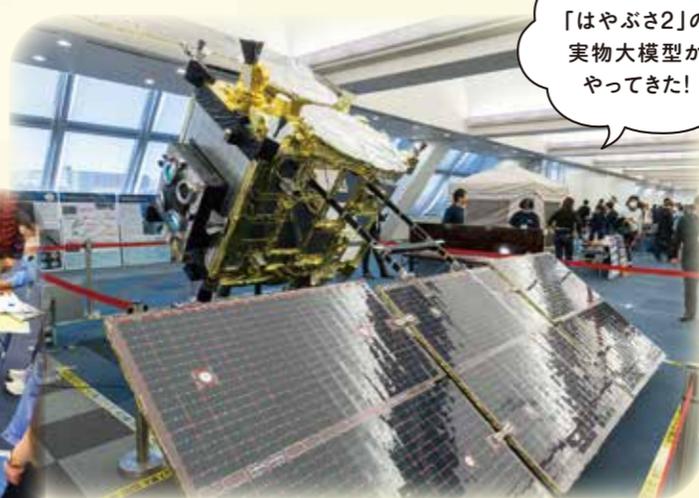
*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

「はやぶさ2」の
実物大模型が
やってきた!



POPデザインに挑戦

水害の
疑似体験で
ドキドキ…



ライフサイクルゲーム



フラワーアレンジメント体験

電動工具で
何を作る?

「リバースメンター」コーナー

